

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	解剖学1	
科目基礎情報					
開設学科	鍼灸科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	東洋療法学校協会指定教科書 医歯薬出版 解剖学				
担当教員情報					
担当教員	大迫 正文	実務経験の有無・職種	有・医学博士		
学習目的					
臨床活動をおこなう上で必要な知識である、「人体の構造」について詳細に学ぶ。疾病を理解するうえで、正常な構造を知ることが重要な基礎知識である。また、他の医療関係者との共通言語として用語を理解し身に付けることが目的である。					
到達目標					
鍼灸の学習を進める上で必要な解剖学的知識を修得する。医療の基礎となる用語を理解し身に付けることが必要となる。そのうえで人体の各部の構造的特徴を学び人体に対する理解を深める。人体の外見から推測できる構造から始まり、体内臓器の理解へと進み、体の内外の構造を立体的に把握し体全体の深い理解につなげる。					
教育方法等					
授業概要	本授業では運動器(骨および筋)の形態的な特徴について学習することを目的とする。身体の象徴的存在として位置付けされる骨学を通して解剖学の基礎を学ぶ。更に、身体の運動を理解するために欠かせない筋の配置を学ぶ。				
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	70%	期末試験（筆記試験）		
	小テスト	30%	授業中に復習のための小テストを実施する		
	レポート				
	平常点 <small>成果発表 (口頭・実技)</small>				
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	骨学（骨の機能、全景）	一般的な骨の性質を理解する			
2回	骨学（上肢1）	上肢の骨を理解する（肩甲帯の骨）			
3回	骨学（上肢2）	上肢の骨を理解する（上腕骨・前腕の骨）			
4回	骨学（上肢3）	上肢の骨を理解する（手の骨）			
5回	骨学（下肢1）	下肢の骨を理解する（下肢帯の骨）			
6回	骨学（下肢2）	下肢の骨を理解する（下肢の骨）			
7回	骨学（頭蓋）	頭蓋の骨を理解する			
8回	骨学（関節・靭帯）	関節及び付属の軟部組織を理解する			
9回	筋学：筋の分類、筋の名称と作用	筋肉の走行と作用を理解する（頭部の筋）			
10回	筋学：筋の名称と作用	筋肉の走行と作用を理解する（頸部・胸部の筋）			
11回	筋学：筋の名称と作用	筋肉の走行と作用を理解する（腹部・背部の筋）			
12回	筋学：筋の名称と作用	筋肉の走行と作用を理解する（上肢の筋）			
13回	筋学：筋の名称と作用	筋肉の走行と作用を理解する（上肢・下肢の筋）			
14回	筋学：筋の名称と作用	筋肉の走行と作用を理解する（下肢の筋）			
15回	総合授業	前期に学んだ情報を確認し、身体を全身から理解する			